

理工学研究科（博士前期課程、博士後期課程）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

鹿児島大学大学院理工学研究科は、全学の学位授与の方針及び理工学研究科の教育目標に鑑み、以下に示す方針に基づいて、学位を授与します。

（博士前期課程）

博士前期課程においては、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を、所定のGPAで修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与します。

1. 地域並びに国際社会の様々な問題に対して、高い倫理観を持って、グローバルで長期的な視点から多面的・俯瞰的に考える能力
2. 理工学的視点から情報を調査し分析する能力、及び課題を発見する能力
3. 論理的思考に基づき、高度な専門知識・技術及び専門分野以外の幅広い知識を主体的に学修する能力
4. 専門分野の知識・技術と専門分野以外の幅広い知識に基づく創造的で柔軟な発想力を有し、自律的で実践的な課題解決能力
5. 地域並びに国際社会の発展に主体的・継続的に取り組むためのコミュニケーションを取ることができる能力

（博士後期課程）

博士後期課程においては、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

1. 高い見識と倫理観のもとに様々な自然科学分野において、確かな専門学力に基づき実践的な問題を解決できる能力
2. 自然科学と科学技術などの知見を有機的に結びつけ、自ら独創的な課題・テーマに取り組み、世界に向けて発信できる能力
3. 体系化された幅広く深い知識をもとに、知識基盤社会を科学技術の立場から支えることが自らの使命であることを自覚できる能力
4. 科学の本質・普遍性を見抜き、新たな課題を発見・探求する力をもって様々な問題克服に寄与できる能力
5. 高い倫理観を持って地域並びに国際社会の進展に通用するリーダーシップを発揮できる能力

理工学研究科（博士前期課程、博士後期課程）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

（博士前期課程）

鹿児島大学大学院理工学研究科博士前期課程は、科学・技術の専門家として、幅広い視野をもち、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、各専攻が編成した学位プログラムを構成する教育課程において、以下のような方針による質の高い教育を実践します。

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成

- ①理工学に関連した高度な専門知識を修得させるために、知の探索科目群を配置します。
- ②専門以外の幅広い知識を修得させ、高い倫理感を養成させるために、大学院横断科目群を配置します。
- ③自律的で実践的な問題解決力を修得させるために、実践力養成科目群及び知の探究科目群を配置します。
- ④国際的に通用するコミュニケーション能力を修得させるために、語学関連科目群を配置します。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

（博士後期課程）

鹿児島大学大学院理工学研究科博士後期課程は、グローバル社会で通用する科学・技術のリーダーとして、豊かな国際社会の実現に向けて科学・技術のフロンティアを開拓・牽引できる人材を育成するため、各コースにもうけた学位プログラムを構成する教育課程において、以下のような方針による質の高い教育を実践します。

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成

- ①理工学分野と他分野の知見を有機的に結びつけ、問題解決の手法、論理的な思考法、発展的課題の設定法、科学に関する倫理をより深く学ばせる教育を展開します。
- ②実践的な問題解決力を修得させるため、問題の本質・普遍性を見抜き、新たな課題を発見・探求する力、多面的な理解に必要な幅広い専門学力、倫理観を修得させる教育を展開します。
- ③それぞれの学生が高い見識と倫理観のもとに課題研究に積極的に取り組み、知の新たな方向性を先導する力を養成するための専門教育を実施します。
- ④プレゼンテーション能力及び語学力をいっそう高めるため、研究成果の国内外の学会での発表及び学術誌への投稿を通じた教育を実施します。

⑤国際的に通用するリーダーシップを発揮する能力を修得させるため、自ら主体的に研究を展開する教育を実施します

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

理工学研究科（博士前期課程、博士後期課程）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（博士前期課程）

<理工学研究科（博士前期課程）の教育目標>

鹿児島大学大学院理工学研究科の理念は、「真理を愛し、高い倫理観を備え、自ら困難に挑戦する人格を育成し、時代の要請に対応できる教育研究の体系と枠組みを創成することによって、地域並びに国際社会の進展に寄与する」です。この理念を受けて、「理工学に関する基礎から応用に至る学術の真理と理論を教授研究し、その深奥を極めて文化の進展に寄与する人材の育成」を目的とし、そのため、「今日の諸課題に対応できる倫理的判断力及び人間生活を取り巻く自然についての総合的な知識をもち、自然科学に関する学問の高度化と多様化に幅広く柔軟に対応できる、次世代を担う技術者、研究者、さらには高度専門職業人を養成する」ことを目標としています。

<入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）>

1. 求める人材像

- ・理工学研究科の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力と意欲を持ち、科学的で合理的な思考ができ、コミュニケーション能力のある人
- ・理工学分野の諸課題に強い関心を持ち、強い探求心を持ってさまざまな課題にチャレンジする努力を惜しまない人
- ・理工学分野のさまざまな現象を解析するため、科学的かつ多面的な観察計画を立案し、それを論理的に解析する能力の研鑽を目指す人
- ・専門知識を基礎に、多様な価値観や文化を大切にし、高い倫理観を持って地域並びに国際社会に貢献することを志す人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

学士としての知識・能力、志望する専攻の専門的分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜（口述試験）では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、志望する専攻の修士学位プログラムの専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

一般選抜（筆答試験）では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、専門科目（理学又は工学において、志望する専攻の修士学位プログラムの専門分野から出題）、

外国語科目（英語）及び面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、志望する専攻の修士学位プログラムの専門分野に関する知識・能力、外国語（英語）の読解能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、志望する専攻の修士学位プログラムの専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる能力・適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、志望する専攻の修士学位プログラムの専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、専門科目（理学又は工学において、志望する専攻の修士学位プログラムの専門分野から出題）、外国語科目（日本語又は英語）及び面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、志望する専攻の修士学位プログラムの専門分野に関する知識・能力、外国語（日本語又は英語）の読解能力、適性・意欲等を評価します。

英語コース特別選抜では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、外国語科目（英語）、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績等も踏まえ、英語の能力、志望する専攻の修士学位プログラムの専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

（博士後期課程）

＜理工学研究科（博士後期課程）の教育目標＞

鹿児島大学大学院理工学研究科の理念は、「真理を愛し、高い倫理観を備え、自ら困難に挑戦する人格を育成し、時代の要請に対応できる教育研究の体系と枠組みを創成することによって、地域並びに国際社会の進展に寄与する」です。この理念を受けて、「理工学に関する基礎から応用にわたる学術の真理と理論を教授研究し、その深奥を極めて文化の進展に寄与する人材の育成」を目的とし、そのため、「今日の諸課題に対応できる倫理的判断力及び人間生活を取り巻く自然についての総合的な知識をもち、自然科学に関する学問の高度化と多様化に幅広く柔軟に対応できる、次世代を担う技術者、研究者、さらには高度専門職業人を養成する」ことを目標としています。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

1. 求める人材像

- ・理工学研究科の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力と意欲を持ち、科学的で合理的な思考ができ、コミュニケーション能力のある人

- ・理工学分野の諸課題に強い関心を持ち、強い探求心を持ってさまざまな課題にチャレンジする努力を惜しまない人
- ・理工学分野のさまざまな現象を解析するため、科学的かつ多面的な観察計画を立案し、それを論理的に解析する能力の研鑽を目指す人
- ・理工学研究科で獲得する専門知識を基礎に、多様な価値観や文化を大切にしつつ、高い倫理観を持って地域並びに国際社会に貢献することを志す人
- ・理工学関連分野で研究者や高度専門技術者を目指し、リーダーシップの発揮を追求する人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

理工学分野の高度な専門的知識・技術及び外国語（英語）の高い知識・能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜・外国人留学生特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績、修士論文及び研究計画書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、総合理工学専攻の専門分野に関する高度な知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績、修士論文、研究・技術業績調書、及び研究計画書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、総合理工学専攻の専門分野に関する高度な知識・能力、適性・意欲等を評価します。